



**中国労災病院**

日本医療機能評価機構認定病院  
地域医療支援病院  
広島県指定がん診療連携拠点病院

◎ホームページにも、いろいろな情報を掲載しています。  
ぜひご覧ください

中国労災

◎メールでのお問い合わせ先: hec@chugokuh.rofuku.go.jp

**病院理念**

患者中心の良質な医療と地域医療への貢献

**基本方針**

- ・個人の尊厳と権利を尊重し、高度で安全な医療を推進します。
- ・地域と連携し、救急から慢性期まで一貫した医療を行います。
- ・周産期医療を充実させ、未来を担う子供たちを支援します。
- ・高度専門的な医療に基づいた勤労者医療を進めます。
- ・優れた人材を育て、働きがいのある職場を作ります。

病院理念と基本方針が変わりました。

## 歩いて学ぶ糖尿病ウォークラリー

### 参加者募集

目的地：阿賀マリノ大橋

日 程：平成25年4月13日(土)

※雨天の場合は、中国労災病院  
8階多目的ホールにて

9時30分 集合

14時頃 解散

参加費：会員 500円、非会員1,000円  
(昼食、保険料含む)

参加人数 先着 30名

参加申し込み 内科外来受付まで  
申込〆切り 4月5日(金)

主催：中国労災病院糖尿病友の会



## 花粉症、PM2.5について

今年も花粉症の季節がやってまいりました。今年は何年よりも多くの花粉飛散することが予測されていますので、症状が重くなったり、新たに花粉症が発症するおそれがあります。花粉症の予防の第一は、花粉が眼や鼻に付着しないようにすることです。

対策として、

- 花粉情報に注意する。
- 飛散の多い時は外出を控え、家の窓・戸を閉めておく。
- 外出時には、マスク、メガネをつける。
- 表面がけげげした毛織物などのコートの使用を避ける。
- 帰宅時には、衣類や髪を払って部屋に入り、洗顔、うがいをして、鼻をかむ。
- 掃除を励行する。

などがあります。症状があるときは、早めに医療機関を受診することが大切です。

また、春には全国で黄砂が観測されますが、今年は何年よりも深刻化している大気汚染物質「PM2.5」が偏西風に乗って日本に飛来することが問題となっています。PM2.5は、粒子径が2.5μm以下(髪の毛の太さの約1/30)と非常に小さいので、吸い込んだ場合に肺の奥まで入り込み、呼吸器系や循環器系の影響が心配されます。また、「PM2.5」が花粉とくっつくことで、「悪玉花粉」と化す懸念もあります。そこで環境省では日本国内での大気汚染の状況、健康への影響の調査を始め、西風が強まる春までに対策をとれるように準備をしています。

(参考：厚生労働省、環境省ホームページ)

## 面会制限について

当院では、「感染症防止対策」の一環として、入院患者さんへの面会をご家族の方のみ(※1)に制限させていただいております。

※1ただし、ご家族の方であっても以下に該当する場合、面会をお断りしております。

・発熱、せき、鼻水、のどの痛み、体の痛みなどの感染症状のある方

なお、面会時は必ずマスクをご着用ください。  
(売店・自販機で販売しております。)

患者さんを守るためですので、皆様のご理解とご協力をお願いします。



## 患者さんの声にお答えします

—投書箱より—

**採血、点滴など、「ごめんなさい。もう一回、もう一回。」と失敗ばかりしないで、少し研修を積んでほしいものだ。**

⇒私たちは採血や点滴の際、穿刺(針を刺すこと)が2回で入らなかった場合は交代することになっていますが、手技に集中していて患者さんの辛さに充分目が向けられていなかったようです。手技の上達はもちろんのこと、苦痛への配慮が出来るスタッフになれるよう、なお一層努力を重ねてまいります。

